

# 令和 2 年度南区地域自立支援協議会活動報告

南区地域自立支援協議会事務局

## 令和2年度南区地域自立支援協議会 総括

南区地域自立支援協議会は、平成22年5月の代表者会議で設置されてから、10年10ヶ月が過ぎた。平成23年度の専門部会の活動内容から大幅に活動を縮小し、事務局活動に重点を置く形で活動を開始して約8年が経過している。

本年度は新型コロナ感染症の影響でこれまで通りの活動を行う事が難しい状況であったが、「**南区に生活する障害児者が、本人の特性やライフステージに応じ、充実した地域生活が送れるように、地域として支援していく**」という目標（理念）の元、

各連絡会、スキルアップ研修、公開講座などの一部の活動を中止としつつ、以下の活動を行っている。

専門部会活動は、精神障害者専門部会と相談支援専門部会という二つの専門部会のみとし、それぞれ年度内に5から6回の部会を開催している。具体的には別項で報告するが、過去に行ってきた個別支援会議開催支援ではなく相談部会として事例検討等を重ねていく事で、区内の相談支援体制の充実に向けた取り組みが具体化し、合わせて個別の支援の積み重ねから地域における課題の抽出を行い専門部会で検討していくという地域自立支援協議会本来の機能を発揮できるようになることをめざしている。

また、精神部会では「精神障害にも対応した地域包括支援連絡会」と連動する形で地域として支援するという協議会の理念に基づいた活動を行った。

昨年度から引き続き「高齢・障害連携会議」という名称で高齢者支援分野との会議体を設置し、地域のケアマネージャーを対象とした障害福祉ミニ講座を試験的に実施している。また、支援に際して地域で起きている課題について意見交換を行い次年度の活動内容についての検討も行っている。

以上が、今年度の南区地域自立支援協議会の活動の概略である。

本年度は新型コロナ感染症の影響で活動に制限がある中、必要な活動に焦点化して活動を行っている。これまでの手法での取り組みが困難になっているがリモート会議等の新しい手法の導入を至上の物とはせず、今後も内容に合わせて必要な対策を取り柔軟に活動を展開し、取り組みを進めていきたい。

# I 令和2年度活動報告

## 南区地域自立支援協議会の目標（理念）

「南区に生活する障害児者が、本人の特性やライフステージに応じ、充実した地域生活を送る事が出来るように、地域として支援していく」

### 1 各連絡会等の運営

- ・令和元年度は、南区グループホーム連絡会、医療的ケア対応施設連絡会、放課後等デイサービス連絡会、地域生活支援会議として高齢分野と連携会議等の運営を行い、ライフステージに応じた支援機関へ協議会として関わっていく体制づくりを行っている。

南区グループホーム連絡会 13:30～15:00 ※新型感染症の影響で開催見送りなっている。

医療的ケア対応施設連絡会 18:00～19:30 ※新型感染症の影響で開催見送りなっている。

放課後等デイサービス連絡会 10:30～12:00 ※新型感染症の影響で開催見送りなっている。

高齢・障害連携会議 全て 15:00～17:00 で実施。

参加機関：睦地域ケアプラザ包括支援センター社福士、大岡地域ケアプラザ包括社福士、南区生活支援センター、南区高齢・障害支援課、南区基幹相談支援センター

実施日	内容
令和2年8月28日(金)	新型感染症の影響で一回目は中止としている。 和元年度に予定していた、ケアマネさん向けの障害福祉ミニ講座のプレ実施についての打ち合わせを中心に実施。実施日は10月13日(火)13:30～15:00、会場は睦地域ケアプラザとなっている。その他情報交換としては2号被保険者への対応や支援の課題について情報交換を実施。
令和2年11月27日(金)	障害福祉ミニ講座の振り返りを実施。アンケート等では支援機関の紹介と事例を活用した制度利用の部分が好評であった。今後の実施については、新型感染症の状況を見ていくために保留としている。また、包括連など別のチャンネルでの実施について提案があり、今後も検討していくことになった。情報交換では、脳血管障害で2号被保険者となった方の退院に当たり、障害手帳の取得まで期間があるために介護保険の利用をというような相談が病院からあった件や、民生委員、区担当、計画相談で連携して支援にあたった好事例についての情報提供があった。
令和3年2月26日(金)	包括連での障害福祉ミニ講座の実施については、新型感染症の関係で包括連の実施が思うようにできていないこともあり保留。次年度についての意見交換では、高齢分野、障害分野の連携につながる取組について意見交換をしている。情報交換では障害福祉から介護保険に切り替えのタイミングでの支援のあり方についてが話題となっている。

※「障害福祉ミニ講座」令和2年10月13日(火)13:30～15:00 南区役所にて実施しています。

### 2 担当

南区基幹相談支援センター相談員、南区生活支援センター職員、南区高齢・障害支援担当ソーシャルワーカー等

## II - ① 令和 2 年度 精神障害者専門部会 活動報告

令和元年度精神障害者専門部会活動の目的「区内にある支援機関のネットワークづくりと日々の支援で直面する課題の共有を通じて各機関で必要に応じて連携し、地域で生活をしている方々への支援の充実を目指す」

事務局：南区生活支援センター、南区社協、南区高齢・障害支援課、南区基幹相談支援センター

日時	参加機関	内容
令和 2 年 6 月 22 日 (月)15 : 00～17 : 00	南区生活支援センター、訪問看護ステーションみのり横浜、市大センター病院医療相談支援、浦舟園、就労移行マナビト、南区後見的支援室、清明の郷、上大岡就労支援センター、南区医師会訪問看護ステーション、中央浩生館、地域活動支援センターBB、発達障害者支援センター、中央浩生館、ホームコスモス、就労移行 smile step、横浜ダルクケアセンター	1、自立支援協議会について 2、本年度の精神部会について 3、自己紹介 4、グループワーク テーマ「支援で困ってしまったこと」「連携について」
令和 2 年 8 月 24 日 (月)15 : 00～17 : 00	南区生活支援センター、訪問看護ステーションみのり、LITALICO ワークス横浜関内、浦舟園、就労移行マナビト、上大岡就労支援センター、発達障害者支援センター、中央浩生館、南区後見的支援室、横浜ダルクケアセンター、smile step、こまつな訪問介護	1、事例検討 ・事例発表 ・グループワーク ・全体共有 2、その他連絡事項
令和 2 年 10 月 26 日 (月)15 : 00～17 : 00	南区生活支援センター、訪問看護ステーションみのり、LITALICO ワークス横浜関内、就労移行マナビト、上大岡就労支援センター、発達障害者支援センター、中央浩生館、横浜市福祉サービス協会南介護事務所、民衆館、地域活動支援センターBB、ホームコスモス、コスモス蒔田、市大センター病院医療相談支援、浦舟園、南区医師会訪問看護ステーション、南区後見的支援室、smile step、横浜ダルクケアセンター、こまつな訪問看護、就労移行こねくと、ヴィストキャリア	1、区内の社会資源を知る「救護施設・更生施設の紹介(浦舟園・中央浩生館)」 2、その他連絡事項
令和 2 年 12 月 22 日 (月)15 : 00～17 : 00	南区生活支援センター、訪問看護ステーションみのり横浜、東部ユースプラザ、上大岡就労支援センター、浦舟園、中央浩生館、民衆館、LITALICO ワークス横浜関内、南区医師会訪問看護ステーション、発達障害者支援センター、南区後見的支援室、横浜市福祉サービス協会南介護事務所、横浜ダルクケアセンター、就労移行こねくと、ヴィストキャリア、コスモス蒔田	1、にも包括連絡会活動報告 2、講義「病院と地域の連携・地域が課題と思っていること」 講師:県立精神医療センター 石田氏 3、グループワーク

日時	参加機関	内容
令和3年2月22日 (月)15:00～17:00	南区生活支援センター、訪問看護ステーションみのり横浜、東部ユースプラザ、上大岡就労支援センター、浦舟園、中央浩生館、民衆館、LITALICO ワークス横浜関内、南区医師会訪問看護ステーション、発達障害者支援センター、南区後見的支援室、横浜市福祉サービス協会南介護事務所、横浜ダルクケアセンター、就労移行こねくと、ヴィストキャリア、コスモス蒶田	1、自己紹介 2、当事者からの発表 3、グループワーク

## 本年度の振り返り

本年度は南区生活支援センター、南区高齢・障害支援課 MSW、医療関係者、南区基幹相談支援センターで構成する精神障害にも対応した地域包括ケアシステム連絡会が部会の企画・運営を行う形としている。

事例検討や精神障害にも対応した地域包括ケアシステム連絡会の活動報告を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に関わる内容や、医療機関、社会資源からの発表、当事者からのメッセージを通じて参加機関の活発な意見交換が行われた。今年度の運営方法を通じて精神部会活動を積み重ねることで「地域として支える」体制作りについて考える機会としたい。

## II-② 令和2年度 相談部会活動報告

令和元年度活動方針「ケアマネジメントの視点と計画相談支援の充実」

事務局：南区基幹相談支援センター・南区高齢・障害支援課

参加機関：AIM コンサルテーションサポート、横浜市福祉サービス協会南介護事業所、たすけあいゆい相談支援センター、相談支援事業所のぞみ介護、はるかぜ、横浜SSJ相談支援室、マザーライクケアセンター南、メープル訪問介護、相談支援センターにじ、相談支援事業所りんどう、ぴいすサポート、居宅介護支援センター白朋苑、指定特定相談支援事業所BB、中部地域療育センター、地域生活支援センターこむつみ、YOUKI☆横浜、ピースフルライフ、エール福祉協会、大石介護相談室、南区生活支援センター、地域活動ホームどんとこい・みなみ

	日時	議題	内容	トピックス
1	令和2年5月11日 13:30～15:00	・各事業所の実施状況の報告 ・業務に関する情報交換など	各機関の4月時点での実施状況の確認を行い、今後の新規受け入れ等について確認。	新型コロナ感染症の拡大防止のため中止としている。
2	令和2年7月13日 13:30～14:30 ※密集を避けるため、1事業所1名出席としている	・コロナ禍での実施状況の共有 ・検討事項 ・集団指導の内容について確認や共有	・令和2年4月から事業開始したYOUKI☆横浜の紹介 ・コロナ関係で各事業所から発信はなし。 ・部会長はどんと飯高を立て、参加者の意見を反映するため、副部会長を選出(ぴいすさぽーと小林氏)。 ・集団指導(帳票類の開始、過誤請求の変更等)	・コロナ禍で業務をすすめるのに、困る状況はなかったようだ。 ・部会運営に参加者の意見を反映したいと投げかけると、いくつか意見があがったので、今後の部会に取り入れていきたい。
3	令和2年9月14日 13:30～14:30 ※密集を避けるため、1事業所1名出席としている	・事例検討 ・副部会長の紹介 ・情報交換	・事例検討(双極性感情障害女性と夫、子ありの世帯への支援について) ・緊急時予防対応プランについて意見を聞く ・8月から運用されている帳票について	・事例検討では、障害のある母のもとで育つ子が心配でなんとかしてあげたいというテーマであった。参加者で世帯状況を把握し、アプローチの対象や視点についてアイデアを得られた。 ・緊急時予防対応プランの作成は1件のみ。どこに何を記入するかイメージしづらい、ライフラインの情報は必要か、在宅生活を維持するための情報があると良い等の意見があがった。
4	令和2年11月9日 13:30～14:45 ※密集を避けるため、1事業所1名出席としている	・新規事業所の紹介と自己紹介 ・事例検討	・中区から事業所移転 エール福祉協会・南の紹介 ・各事業所の受け入れ状況や人員の増減を共有 ・事例検討(自立生活援助と計画相談を活用した支援について)	・増員により新規受け入れが可能な事業を確認している。 ・事例検討では、同居の家族が亡くなった後、地域生活をどのように営むかというテーマであった。自立生活援助を活用し、

				生活基盤を維持している事を参加者と共有した。
5	令和3年1月18日 13:30～15:00	・緊急時予防対応プラン実践報告 ・在宅リハビリテーションの紹介		新型コロナ感染症の拡大防止のため中止としている。
6	令和3年3月22日 13:30～15:00		※1月18日の内容で実施予定。	

#### 令和元年度の振り返り

本年度は緊急事態宣言下での実施を避ける必要があり、4回の実施となっている。その中でも、事例検討や制度の活用方法等の共有を図ることで、スキルアップに寄与する内容に取り組めている。

### III 南区地域自立支援協議会に位置付けるその他活動 活動報告

#### 1 スキルアップ研修

※新型感染症の影響で中止。

#### 2 公開講座

※新型感染症の影響で中止。

#### 3 南区卒業生進路懇談会

令和2年7月21日(火)に本年度1回目の懇談会を実施。南区在住で令和3年3月卒業予定者について各学校の進路担当から状況報告を受けて、各支援機関と意見交換をする形を取っている。また、例年とは時期が異なっている進路実習の進捗状況なども確認している。

令和3年1月19日(火)に二回目の進路懇談会を予定していたが、新型感染症の拡大に伴う緊急事態宣言下という事で中止としている。